

# あわらの市の 子どもたち

令和4年度

全国学力・学習状況調査

「全国学力・学習状況調査」は、文部科学省が全国の児童生徒（小学6年生、中学3年生）を対象として行う調査です。児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図ること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、平成19年度より実施されています。学力を問う出題だけでなく、児童生徒の学習環境や生活環境の質問紙調査も行われています。

この度、令和4年4月に実施された調査について、本市の結果を公表します。この結果については、調査日時点でのものであること、成長過程の子どもたちの限られた教科（小学校は国語、算数、理科、中学校は国語、数学、理科）の結果であること、また、学習状況の部分的な調査であることをご承知おきください。

本市としましては、教育活動を評価するための一つの資料として有効に活用して参ります。

また、児童生徒の学力の向上には、学校と家庭、地域の連携が不可欠です。今回の公表結果を通して、三者の連携体制をより一層強く築くための一助にしたいと思います。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

■調査対象 小学校6年の児童及び中学校3年の生徒

- 調査事項
- 1 教科に関する調査
    - ・小学校国語、算数、理科
    - ・中学校国語、数学、理科
    - ・理科は3年に一度の調査
  - 2 質問紙調査
    - ・生活習慣や学習環境に関する質問
  - 3 今年度の調査の特徴
    - ・知識と活用を一体的に問う問題形式で出題



## ■教科に関するあわらの市の調査結果から

全国・県平均正答率との比較(Pはポイント)

3P以上高い→◎ 0～3P高い→○ 0～3P低い→▽ 3P以上低い→▼

小6	国との比較	県との比較
国語	◎	◎
算数	◎	○
理科	◎	◎

中3	国との比較	県との比較
国語	◎	◎
数学	◎	○
理科	◎	○

## 【小学校 概要】

小学校の平均正答率は、昨年に引き続き、全ての教科（国語、算数、理科）において全国や県の平均正答率を上回っています。

また、全ての教科において、「知識・技能」及び「思考・判断・表現」ともに全国や県の平均正答率を上回る高い正答率でした。

国語の「読むこと」において、平均正答率が全国平均を1.3ポイント下回っていました。

## 【小学校 教科別の成果と課題】

### 小学校国語

#### 「良好」な内容

- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめること
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

#### 「課題」となる内容

- ▲登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること
- ▲登場人物の相互関係について、描写を基に捉えること
- ▲人物像や物語の全体像を具体的に想像すること

### 小学校算数

#### 「良好」な内容

- ともなって変わる二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述すること
- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述すること
- 図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方についての理解
- 加法と減法の混合したポイント数の求め方を解釈し、他の場合のポイント数の求め方と答えを記述すること

#### 「課題」となる内容

- ▲百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めること
- ▲示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことの理解

### 小学校理科

#### 「良好」な内容

- 自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述すること
- 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること
- 水是水蒸気になって空気中に含まれていることの理解
- 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもち、自分の考えをもち、その内容を記述すること
- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもち、その内容を記述すること

#### 「課題」となる内容

- ▲メスシリンダーの正しい扱い方に関すること

## 【中学校 概要】

中学校の平均正答率は全ての教科（国語、数学、理科）において全国や県の平均正答率を上回っています。

また、全ての教科において、「知識・技能」及び「思考・判断・表現」ともに全国や県の平均正答率を上回る高い正答率でした。

国語の「読むこと」において、小学校同様、平均正答率が全国平均を0.2ポイント下回っていました。

## 【中学校 教科別の成果と課題】

### 中学校国語

#### 「良好」な内容

- 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと

#### 「課題」となる内容

- ▲場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えること

### 中学校数学

#### 「良好」な内容

- 自然数を素数の積で表すこと
- 簡単な連立二元一次方程式を解くこと
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること
- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件の理解

#### 「課題」となる内容

- ▲反例の意味理解
- ▲一次関数の変化の割合の意味理解
- ▲筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明すること
- ▲2つの度数分布多角形の特徴を比較して、正しく説明すること

### 中学校理科

#### 「良好」な内容

- モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画すること
- 化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すこと
- アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うこと
- 予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつこと
- 未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈すること

#### 「課題」となる内容

- ▲継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈すること
- ▲液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象について、状態変化に関する知識及び技能を活用すること

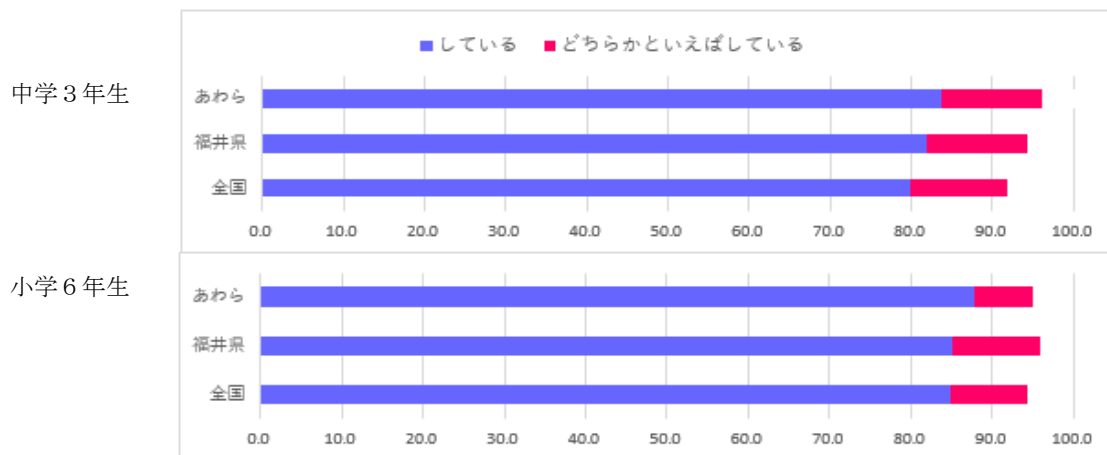
## ■児童生徒質問紙調査の結果から

<グラフの目盛りの単位：％>

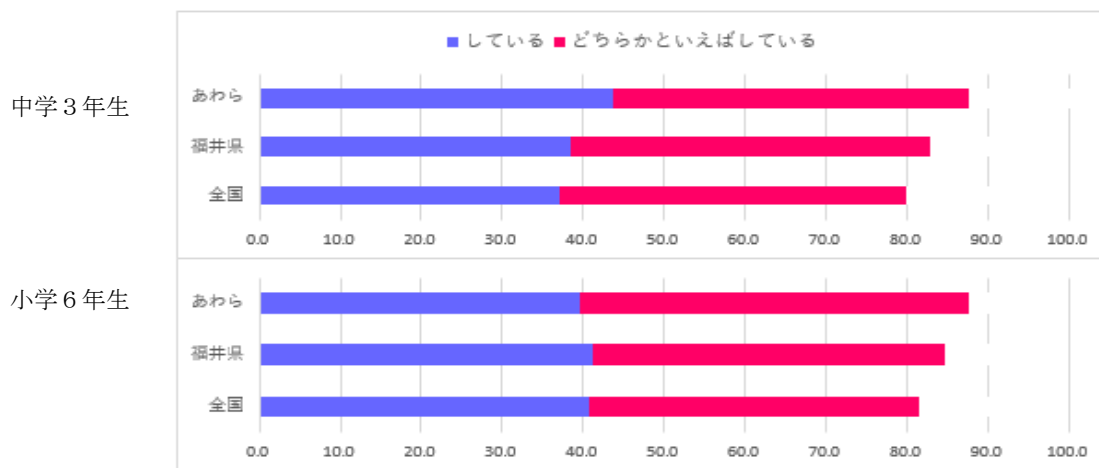
### 生活習慣

「朝食を毎日食べる」「毎日、同じ時刻に寝ている」など規則正しい生活を送っている児童生徒が多いようです。

○朝食を毎日食べていますか。



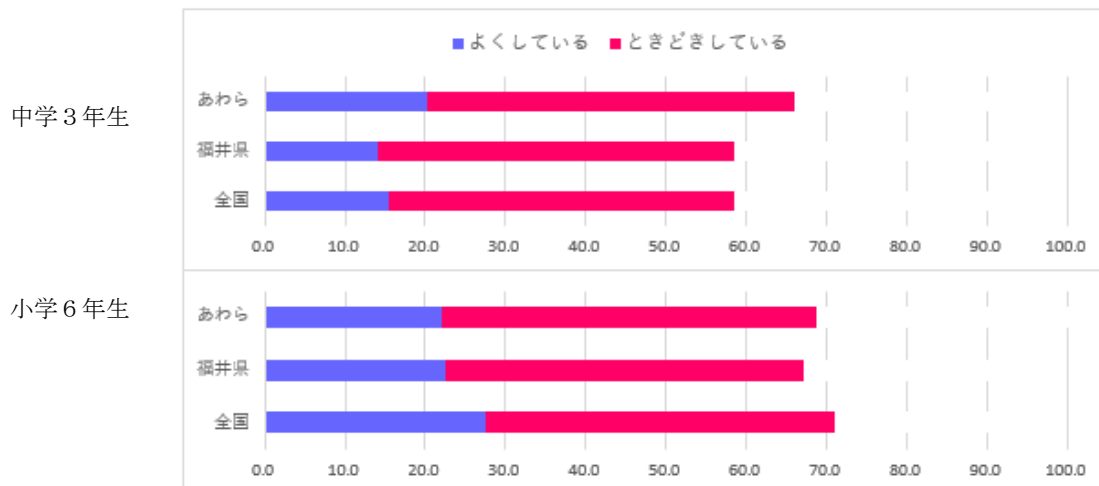
○毎日、同じ時刻に寝ていますか。



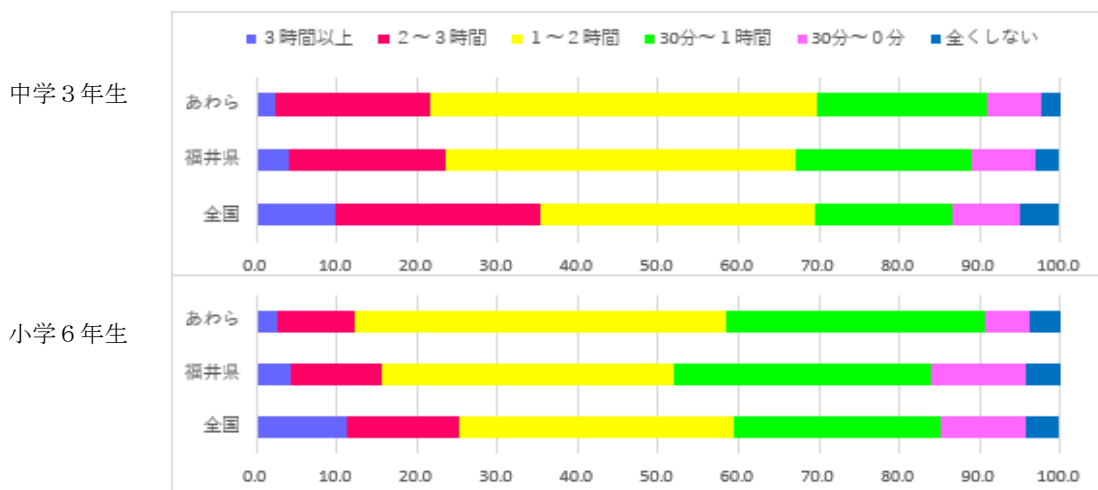
### 学習習慣

児童生徒ともに、自分で計画的に学習する習慣が概ね身についています。しかし、普段の授業以外での勉強時間が少なくなっています。児童生徒の普段の読書時間も少ないようです。読書が好きと答えた小学生の割合が、国や県を下回っています。

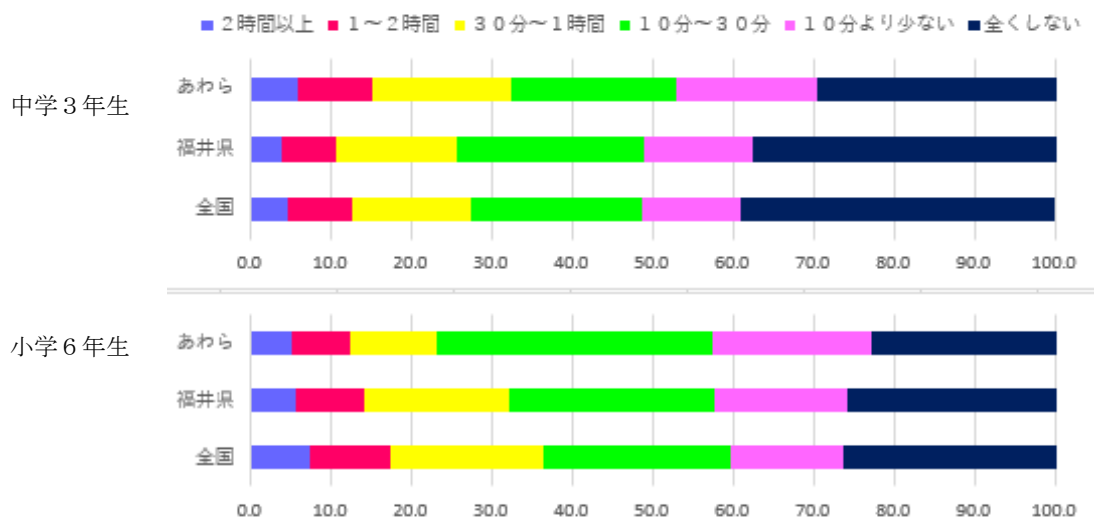
○家で、自分で計画をたてて勉強をしていますか。



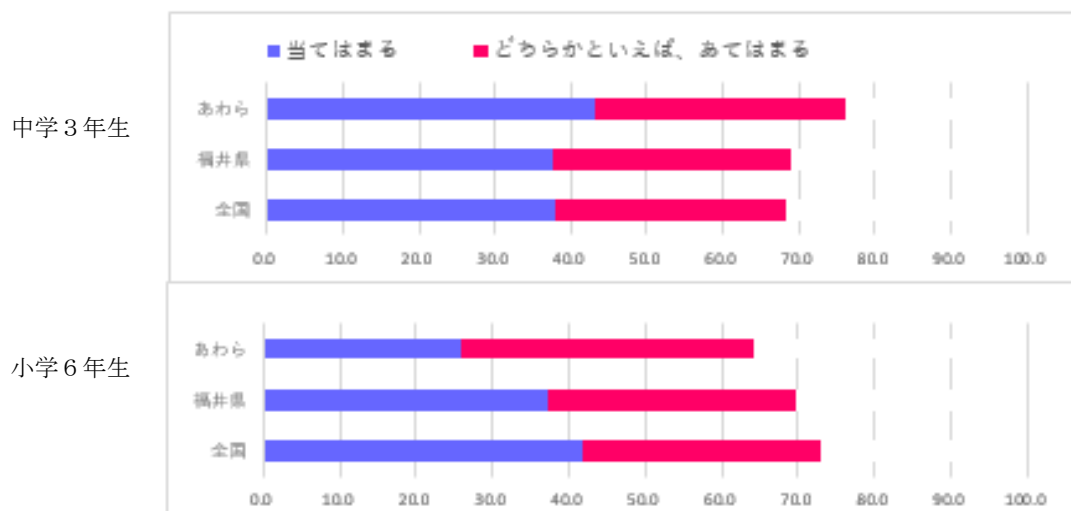
○学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらい勉強をしますか。



○学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらい読書をしますか。



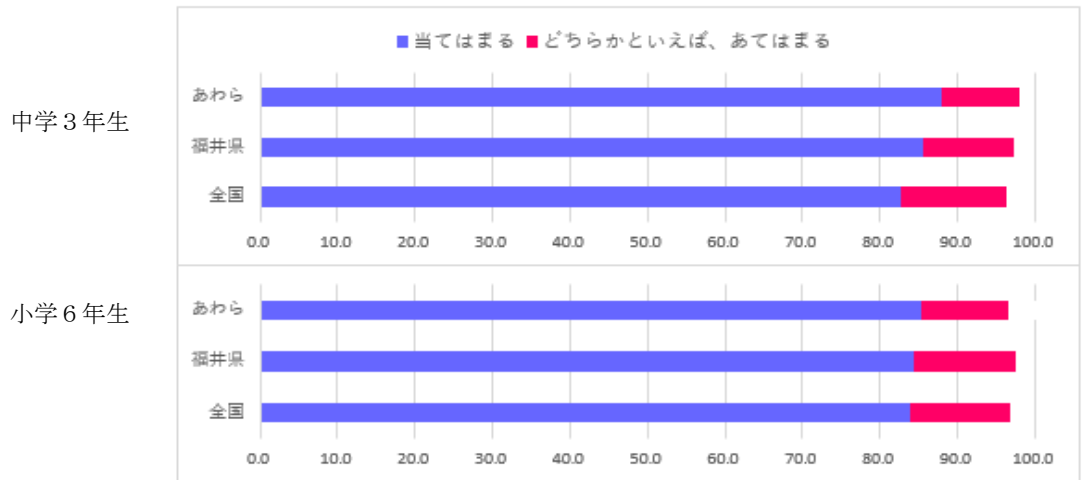
○読書は好きですか。



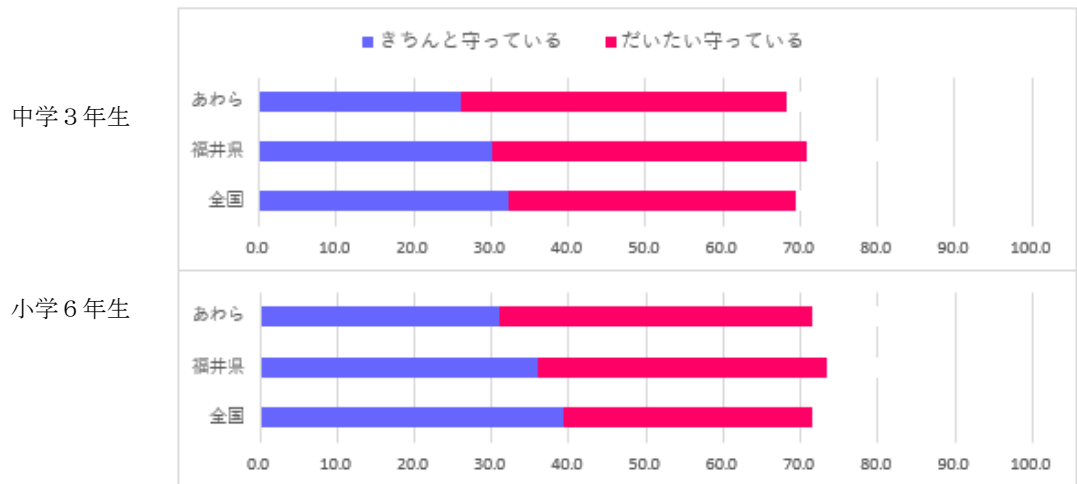
規範意識

いじめはどんなことがあってもいけないことです。このことについては、引き続き真剣に考えていかなければなりません。携帯電話などについて、家庭での約束を守っていると答えた児童生徒の割合が、国や県を下回っています。

○いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか。



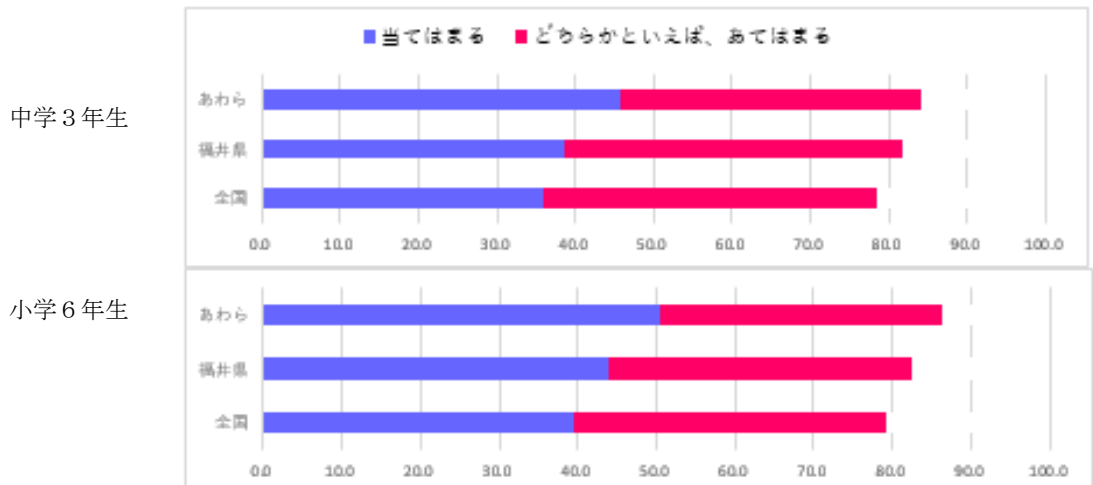
○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



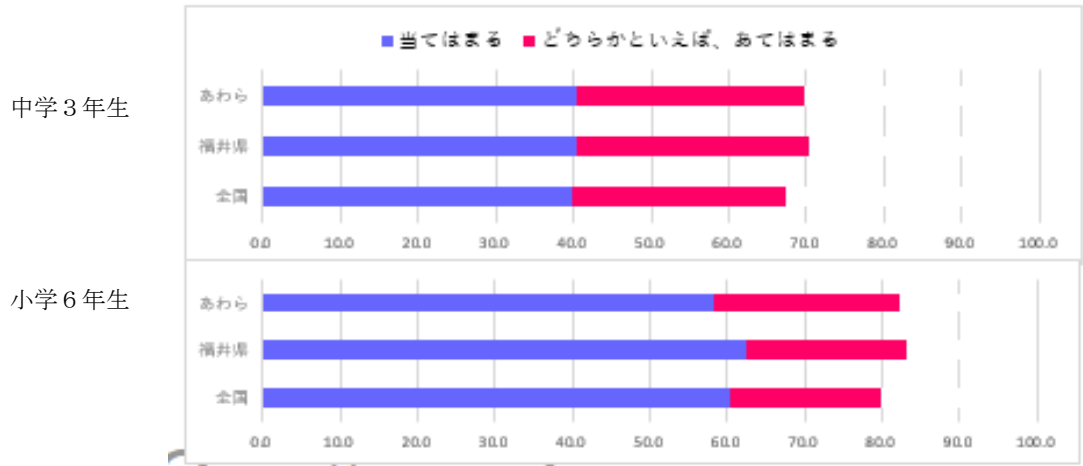
自尊感情

自分に良い所がある、将来の夢や目標を持っていると答えた児童生徒の割合が高いです。人の役に立つ人間になりたいと答えた児童生徒の割合も高いです。

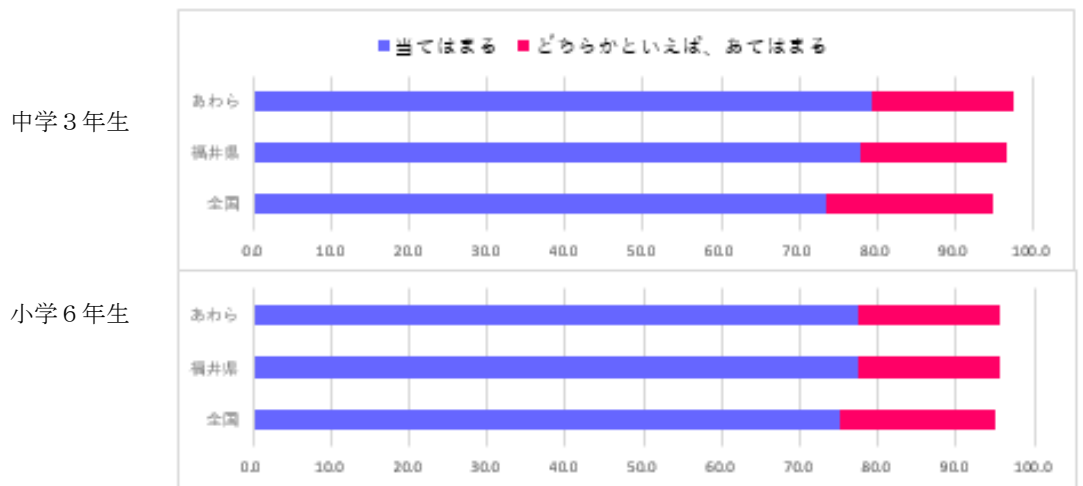
○自分には、よいところがあると思いますか。



○将来の夢や目標を持っていますか。



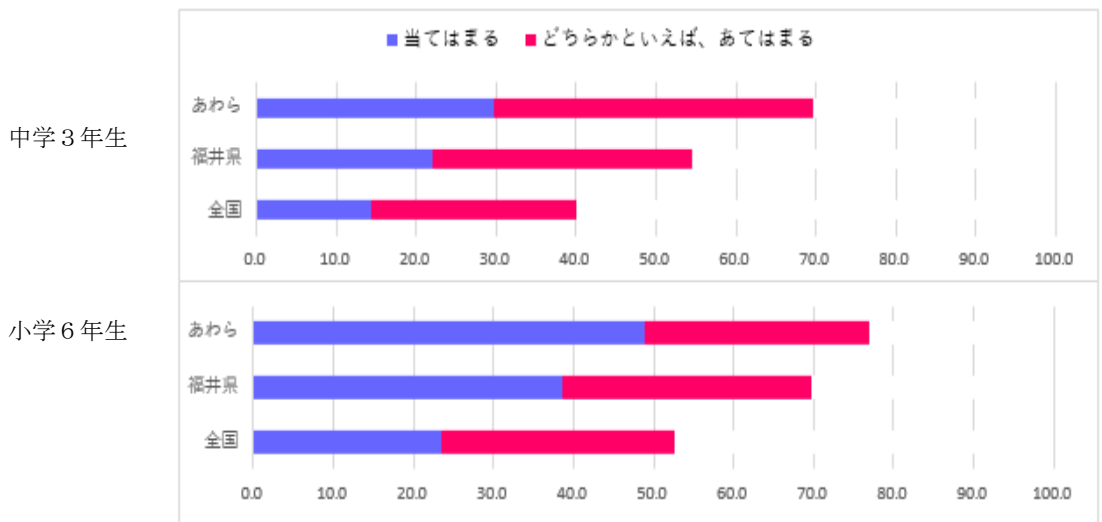
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



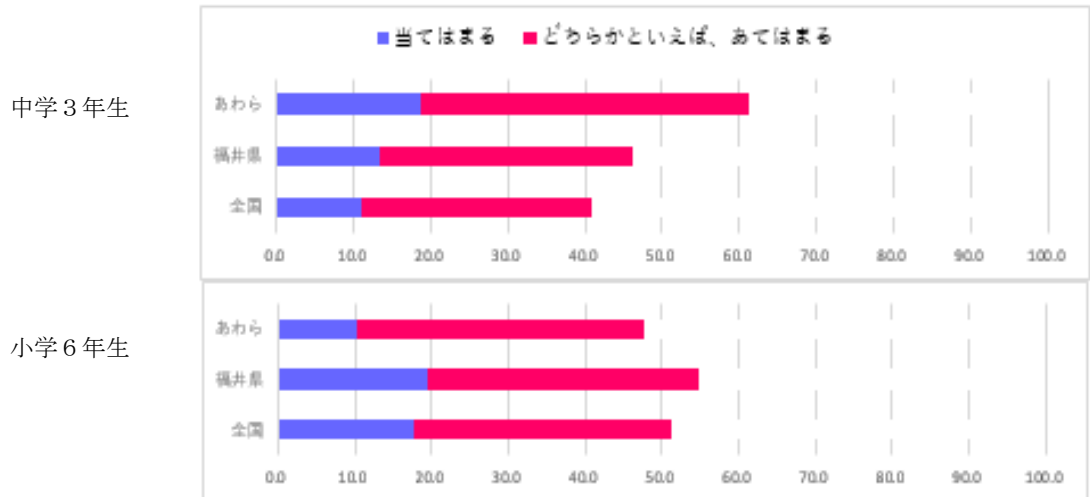
**社会性**

児童生徒は地域の行事に積極的に参加しています。地域のために貢献したいという意欲については、中学生は高い傾向ですが、小学生は国や県を下回っています。

○今住んでいる地域の行事に参加していますか。



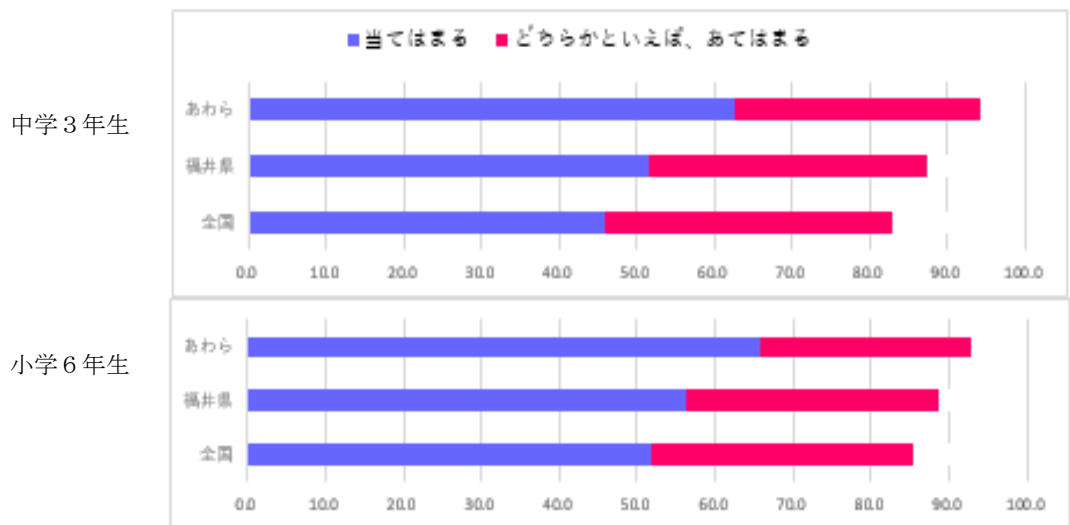
○地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがありますか。



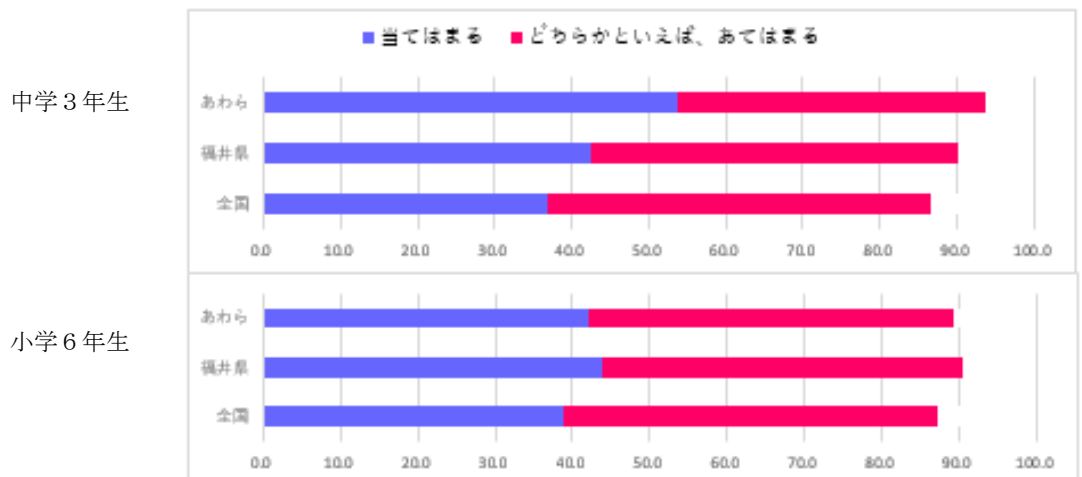
その他1

学校が楽しいと感じる児童生徒の割合が高いです。また、自分で決めたことをやり遂げたり、失敗を恐れずに挑戦したりする中学生の割合は高いですが、小学生の割合は若干低いようです。

○学校へ行くのが楽しいと思いますか。

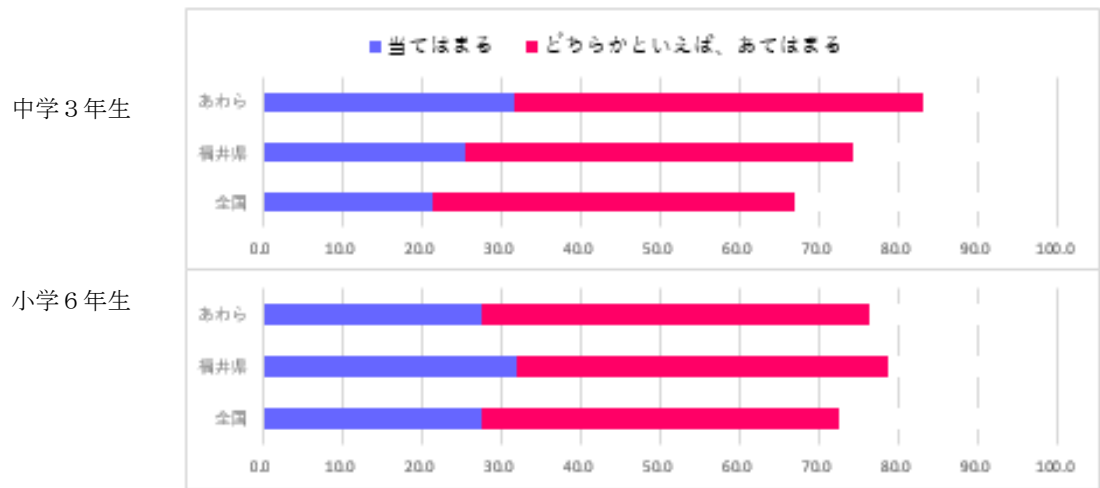


○自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。





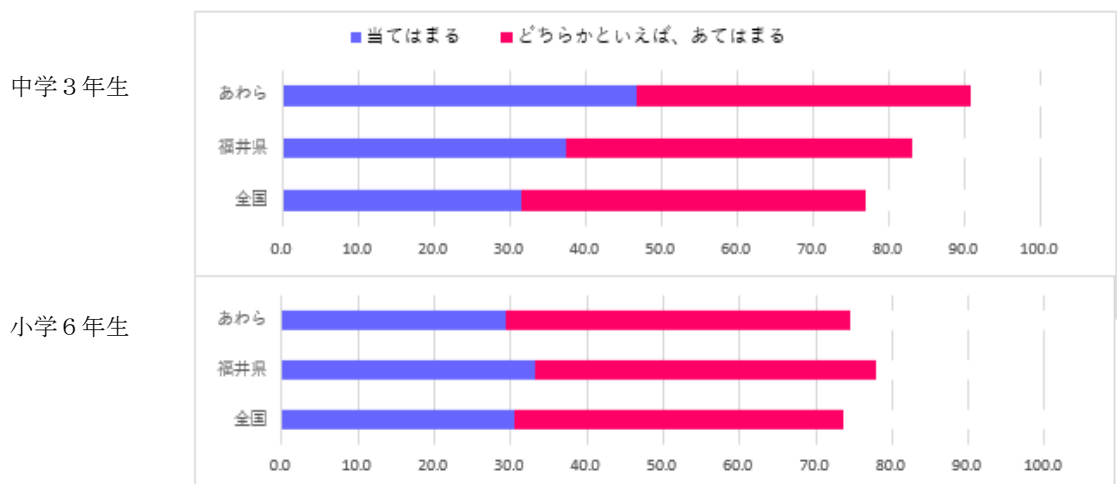
○難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。



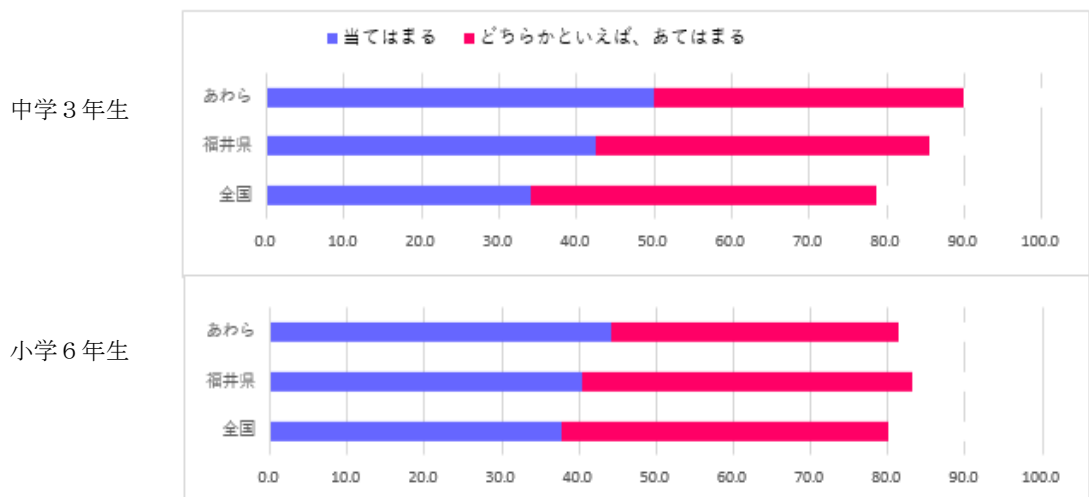
その他2

自分と違う意見について考えるのが楽しいと答えた中学生の割合が高いです。学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできているようです。

○自分と違う意見について考えるのは楽しいですか。



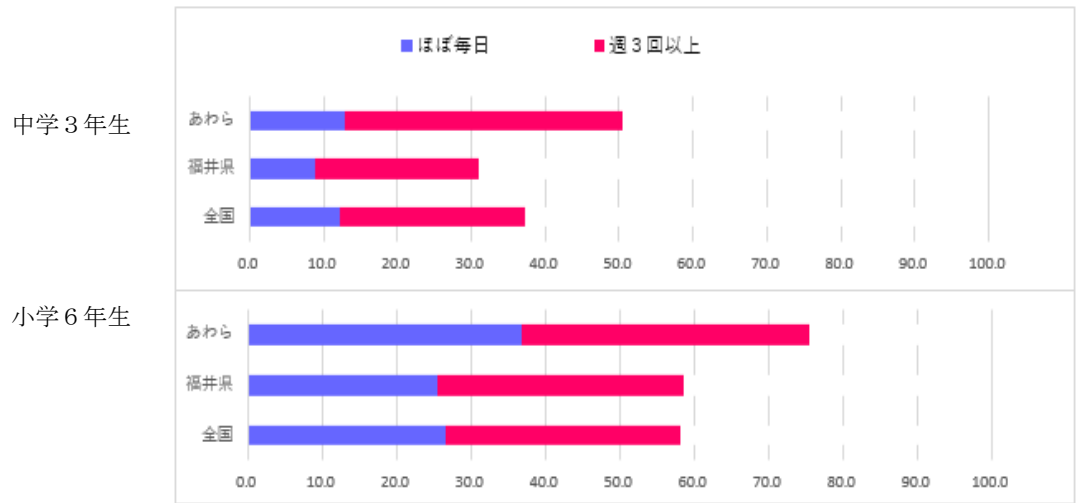
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



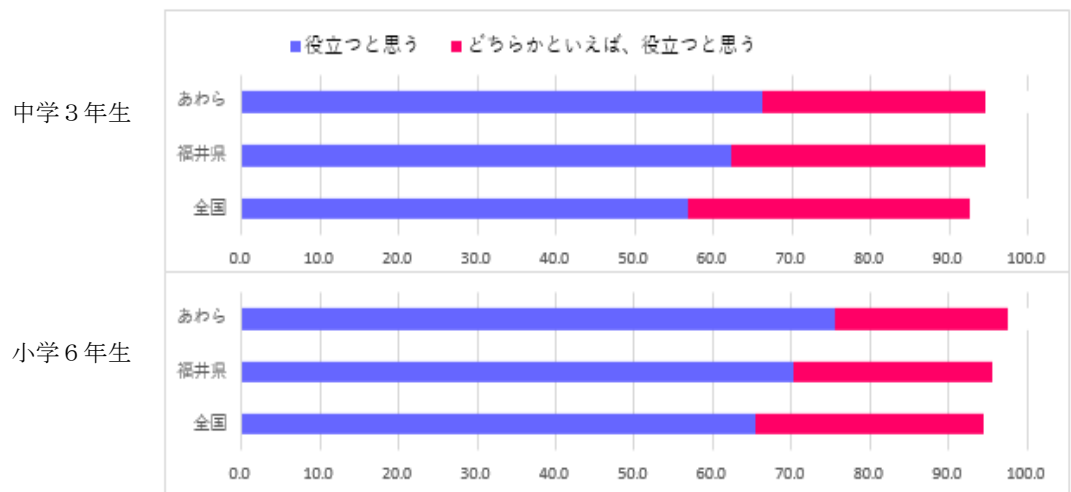
その他3

授業中に、ほぼ毎日ICT機器使っていると答えた児童生徒の割合は高いようです。また、ICT機器を使うのは勉強の役に立つと答えた児童生徒の割合も高いです。

○学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）



○学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。



問い合わせ先 教育総務課 ☎73-8039